

## 地域と共に歩む 活力ある職場をめざして (94)

能代署・総務課 鎌田 悦朗

はじめに

当署管内は、能代市・琴丘町・山本町・二ツ井町・八竜町・八森町・峰浜村の1市5町1村の広範囲にわたっており、国有林野面積その他については、表1・表2のとおりです。

能代・山本地区は昔から林業にたずさわる人が多く、製材業等に何らかのかたちで従事しておりました。しかし、昨今の経済情勢から第2次・第3次産業の発展また過疎化が進む中で地元関係者の高齢化もあって、全般的に林業に対する関心が薄くなってきているのが実情です。

調査の結果、現在、能代市・山本郡で林業に従事している者は5,438人で、この数は、全人口のおおよそ5%（林業・全製材業含む）です。また10年前に比べ約2,600人が減少し、しかも林業従事者5,438人のうち4,132人（約76%）が50才以上になっています。

表1

単位：ha

市町村別	国有林面積	官行造林面積	計	民有林面積	合計
能代市	1,921	515	2,436	8,893	11,329
琴丘町	1,922	105	2,027	6,008	8,035
山本町	602	92	694	4,397	5,091
二ツ井町	5,098	87	5,185	6,884	12,069
八竜町	0	0	0	658	658
八森町	3,169	492	3,661	6,685	10,346
峰浜村	633	501	1,134	7,665	8,799
合計	13,345	1,792	15,137	41,190	56,327

表2

単位：人

市町村別	人口数 元年4月現在	S53年頃 林業従事者	元年4月の 林業従事者	元年4月の人口に 対する林業従事者
能代市	58,147	3,940	2,628	4.5%
琴丘町	7,005	635	376	5.4
山本町	9,681	480	357	3.7
二ツ井町	14,069	1,853	1,206	8.6
八竜町	8,048	77	40	0.5
八森町	5,321	562	399	7.5
峰浜村	5,597	492	432	7.7
合計	107,868	8,039	5,438	5.0

### 1. 取り組みに対する経緯

近年人々の緑資源に対する関心の高まり、また豊かな人間性を求める生きがいの場として森林の役割りが年々益々期待されています。

私たちの職場は、地域とは親密な関係があり、これからの国有林経営にとってより一層大事にしていく必要があります。同時に、職場の高齢化に伴いお互いに生きがい、そして思いやりを大切にして、明るい和のある職場を築いていかなければならないと思います。

当署では、地域との連携を密にして魅力ある林業をめざし、あわせて職場の活性化を図るため次のことを実施しています。

- (1) 学術参考保護林を活用した林業関係者等への国有林のPR
- (2) 分収育林の積極的な募集活動と緑のオーナーとの交流
- (3) 各種イベントへの積極的な参加

## 2. 具体的な実施事項とその成果について

### (1) 学術参考保護林を活用した林業関係者等への国有林のPRについて

この森林は、残された「天然秋田スギの代表的な林分」ということから、天然秋田スギの自然状態における遷移林分構造を研究するため、学術参考保護林として昭和22年から指定し、保存をはかりながら広く一般の方々にも利用していただいています。入林状況は表3のとおりです。

表3

単位\*人

区 分	62年度	63年度	元年度	備 考
一 般	4,031	4,089	4,572	
大学・高校	56	96	226	
そ の 他	228	562	778	外国人含む
合 計	4,315	4,747	5,576	

(平成元年度は、職員の対応したものが32回であり年々多くなっています。)

視察者は県内は勿論のこと、遠く九州・四国からも見えられ、森林組合・林業研究会・大学等の団体が多くなっています。

私たちは見学者との対話の中から勉強になることも多く、その地方の林業の実情や、保育関係、また特産樹種等に話題が集中し大変参考になります。

また最近では、外国人の視察も多くなりうれしい悲鳴をあげています。一方、地域においても気軽な散策路、また広くコミュニケーションの場として活用されています。

### (2) 分収育林の積極的な募集活動と緑のオーナーとの交流について

ここでは、募集活動の結果等について報告します。

昭和59年に制度化され創意工夫しながら実施していますが、対象地の選定、またオーナーの掘り起こし等に苦慮しているのが実態であります。

しかしながら、何といたっても契約後のオーナーに対する誠意ある気配り、そして思いやりが大切であり、その成果が着々と実を結び、契約状況は表4のとおりである。

表4

単位\*人

区 分	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	合 計
能代市・山本郡	12	16	15	9	9	61
秋 田 県 内	8	9	11	12	9	49
県 外	9	56	80	111	107	363
合 計 (人数)	29	81	106	132	125	473
(口数)	41	91	119	159	144	554

昭和60年度から始まった当署の分収育林の契約者数は、平成元年度末までの5年間で人数にして473人、口数で554口の緑のオーナーが誕生しています。このうち県外の契約者は363名(約77%)になっており、殆ど東京都を中心とした首都圏です。

このことは単に将来の資産造りばかりが目的ではなく、国有林への森林資源に対する大きな要望と期待が寄せられているのではないかと思います。

なお、昭和63年度及び平成元年度の2年間は、営林局のご協力を得募集全口数を完売することができました。

また、春・秋緑のオーナー会を開催し、現地視察をする等交流を大事にしていますが、時々首都圏の契約者から心のこもった便りが届き励みになっています。署でもオーナーの皆様に対し年賀状を出す等ふれあいをはかっています。今年もオーナーから年賀状を数多くいただきましたが、中には小学5年生の可愛いオーナーから

もあり大変感激しています。

### (3)各種イベントへの積極的な参加について

ア. 当署には342haの広大な能代海岸砂防林があります。(民有林を含めると760ha)「風の松原」と称して全国的に権威のある「21世紀に残したい日本の自然100選」等、日本4大名松として四季折々素晴らしい景観が見られます。約700万本の黒松林、150年を数える大樹林を大事に後世へ引き継いでいく責務があります。

毎年ここで風の松原フェスティバルを開催し、地域の方々と交流を深めると共に住民の憩いの場として多いに活用されています。

ロ. 能代市商工祭においては、副産物を出品するとともに国有林のPRのため会場に林業写真の展示、分収育林の案内コーナー、またビデオテープを活用した管内説明等を実施し国有林を積極的に紹介しています。このことについては住民から大変喜ばれ毎年必ず開催するよう強い要望があります。

### おわりに

緑を求めて集まる人々、分収育林の契約状況、また参考林の視察状況をみますと国有林の大切さをよく認識します。

国有林野事業の経営が厳しいければ厳しいほど、私たちは素直な気持ちで地域住民と対話し、何を望んでいるかふれあいの場が必要であると強く感じます。

今後私たちは、より一層地域と共に歩み明るい展望を開くため大きく貢献しなければならないと思います。と同時に林業全体の活性化の強化を図り、森林に対する多種多様な要請に応じ頑張っていく所存です。